



まずは、上の写真をご覧ください。フカフカの座布団のようなものですが、これが美術館の収蔵庫（作品を保管する所）にたくさんあります。何に使うものかお分かりになりますでしょうか。

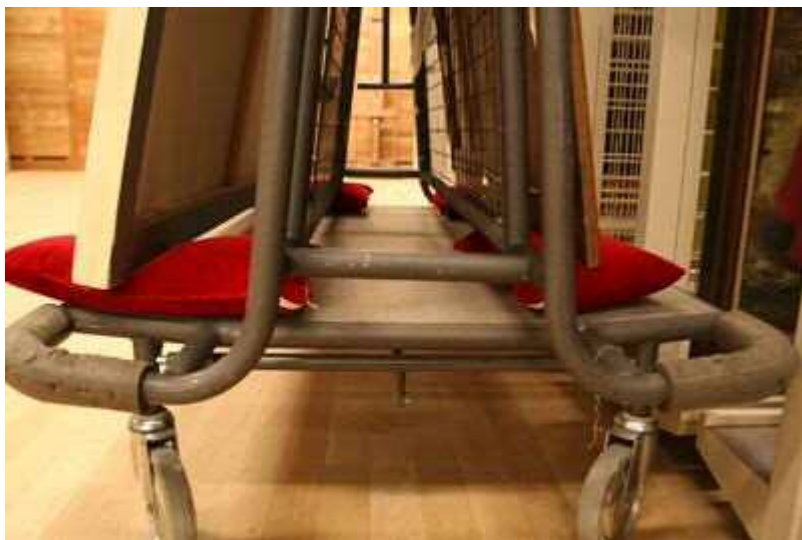
この写真に写っている布団のサイズは、大体A4サイズぐらいで、大変上質なビロードでできています。厚さも結構あり、枕にすると気持ちよさそうなかんじです。実際、触っていると気持ち良くて、抱きかかえていたくなる感じなんです。



▲たくさんの赤い座布団的なもの

これは、私たちが[ヤワラ]とか[布団]と呼んでいる美術館で使う道具です。ヤワラは基本的に、展示

作業中に使っています。作品を移動させる際、台車に乗せて運んでいるのですが、作品をそのまま台車に乗せる事はまずありません。作品を乗せる部分に、ヤワラを敷いて、その上に作品を乗せます。移動の際にかかる負担や衝撃を和らげるため、さらに、装飾的な額の場合、突起している部分にだけ重力がかからないように、床面から離すために使っています。



▲絵画用の台車に乗せています。真横から



▲前から見るとこんな感じで乗せています。

さらに、このヤワラには、色々な種類があります。先に紹介した赤いかわいいヤワラもあれば、美術作品の輸送や展示に携わる業者の方が持ってきているグレーの長いタイプのもの、さらに綿を薄い紙で巻いたものなどのヤワラがあります。



▲ひとまとめになっていますが、これが業者の方がお使いになっているヤワラです。



▲こちらが、薄い紙に巻かれたタイプのヤワラ

最初の写真のヤワラは、当館専用のヤワラです。作っていただいたのは、美術館友の会のサポート部会の方々っ！ 赤いヤワラ以外にも、白いヤワラも存在します。下の写真にある白いヤワラは、すごく

綺麗ですすべです。ちりめんやりんずといった着物用の絹地でできています。



▲綺麗な模様もはいつています。



▲この写真では、作品を裏返しておく際に、作品の画面が直接あたらないよう浮かせるために敷いています。

ご来館の方々には、お見せすることができないものですが、美術館が閉館中の展示替え作業中などで、大活躍してくれる道具です。

(RK)